

デザインで がんは 減らせるか

公益財団法人日本対がん協会 主催
第5回 がん征圧ポスター
デザインコンテスト

そもそも、何のためにデザインするのか。あなたはデザインで何ができるのか。その問いの答えのひとつを、表現してみませんか。全国に貼られるポスターで。

最優秀賞作品は、9月のがん征圧月間をアピールするためのポスターとして活用します。ポスターは5万部ほど制作し、全国の自治体、保健所、病院などで掲示されます。

審査員7名(敬称略・50音順) 秋山耿太郎(公益財団法人日本対がん協会理事長)、大谷剛志(厚生労働省健康局がん・疾病対策課 課長補佐)、岸田徹(NPO法人がんノート 代表理事)
中川恵一(東京大学医学部附属病院放射線科准教授)、廣村正彰(グラフィックデザイナー)、本田亮(クリエイティブディレクター)、本橋美枝(公益財団法人日本対がん協会 広報グループマネジャー)

募集内容 がんの早期発見の大切さを伝え、検診の受診を呼びかける作品

作品テーマ 「がん検診に行こう」
ただし特定のがん(「乳がん」「肺がん」など)のみを言及するのは避けてください。

応募資格 高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生
※グループ応募も可能です。(メンバー全員が応募資格を有していること) ※1人もしくは1グループで複数応募できます。

副賞 最優秀作品(1点)賞金10万円、優秀作品(3点)賞金1万円を贈呈

WEBで詳細情報を見て
エントリーしてください

www.jcsposter.com



廣村正彰 グラフィックデザイナー

がんの「予防」、「検診の大切さ」、「早期発見」というメッセージをどのように視覚化して、正確に伝えるか。デザインには連想がとても重要です。見る人たちの想像を広げ、行動を促すデザインを期待しています。

岸田徹

NPO法人がんノート
代表理事

本田亮 クリエイティブディレクター

がんになる人が増えています。でも、早期検診を受ければ、助かる命は助かるようになります。がん征圧ポスターはデザインと言う名の「人助け」です。どしどし応募してがんを蹴散らしてください。

中川恵一

東京大学医学部附属病院
放射線科准教授

エントリー及び作品募集期間
2017年2月1日から
3月31日まで 消印有効